

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
教育原理		選択	2	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
星野 浩章	大学事務室	h.hoshino	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	医療や福祉の活動は、基本的に良好な人間関係を築くことにあります。そこに教育の意味や目的・役割などを正しく理解して臨むことの重要性があると考えます。この授業は、学校教育に携わることを目的とするのではなく、教育について考えることを通して、医療・福祉に携わる者が患者や相談者といかに良好な関係を築き、改善に導いていくか、ということを経験的な教育的場面の設定で、時にロールプレイやグループワークなどを通して幅広く学習します。主に Teams を利用して遠隔で授業を進めます。				
学習上の助言	自分自身がこれまで受けてきた教育が、どのように自分自身の中に生かされているかを考えると共に、現代社会における様々な教育に関する問題について、新聞(紙や電子)・スマホ等を利用して最新の情報や動きにも目を向けて欲しい。				
教科書	特に指定なし				
参考書	中学・高校時代の「道徳」や「公民」、「倫理」「現代社会」の教科書・副読本・資料集等を各自用意すること				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	教育とは何かについて考え、人が生きる上で大切な役割を持つことが理解できる。			HUS(1)、(2)、(3)、(5)	
②	教育の役割と医療・福祉の活動場面との結びつきを理解し、説明できる。			HUS(1)、(2)、(3)、(5)	
③	教育の持つ役割が他者との関わりの中で実践できる。			HUS(1)、(2)、(3)、(5)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間(時間)		
1	授業概要・授業方法の説明とグループ分け、自己紹介	同時双方向型授業	グループメンバーによる GW の準備	4	
2	教育とは何かについて自作資料をもとに考察する。	同時双方向型授業	授業資料に記入して課題として提出する。	4	
3	目標管理シートを作成して、自己管理と教育について考察する	印刷教材等での授業	目標達成に向けた計画を1週間実施する。	4	
4	目標に対しての取組結果をグループ内で発表し相互支援を行う	同時双方向型授業	助言を生かして計画を見直す。自分史作成の材料を準備する。	6	
5	自分史作成の手順に従って、自分史の作成をする。	印刷教材等での授業	授業内で仕上がらなかったところを完成させる。	4	
6	自分史の中から、これまでの学校教育で得たものを取り出し発表する。	同時双方向と印刷教材等の併用	学校教育の中で、嫌な思いや苦しんだ経験を整理し、学校以外での教育的場面を探しておく。	2	
7	学校教育でのマイナス面や自分史の中から、学校以外で学んだことを発表する。	同時双方向型授業	これまでの学修を整理する。	4	
8	日本の文化・日本人の特性について学習する。	同時双方向型授業	特性を知ることと医療や福祉との結びつきをまとめておく。	4	
9	日本人の特性と医療・福祉の活動場面での関わりを学修する。	同時双方向型授業	リハビリや相談での対応場面を想定しまとめておく。	4	
10	医療・福祉の具体的な活動場面に教育的場面設定をし、学科ごとのグループでロールプレイをする。	同時双方向型授業	リハビリや相談での対応場面を想定しまとめておく。	4	
11	医療・福祉の具体的な活動場面に教育的場面設定をし、学科ごとのグループでロールプレイをする。	同時双方向型授業	ロールプレイでの結果についての感想をまとめる	4	
12	ロールプレイでの結果をグループごとに発表する。	同時双方向型授業	全ての発表を箇条書きでまとめ整理しておく。	4	
13	目標設定から評価までの教育過程を患者や相談者との対応場面に置き換えてシミュレーションをする。	同時双方向型授業	これまでの学習を整理する。	2	
14	医療や福祉の分野と教育の関わりについてまとめる。	同時双方向型授業	全体を復習し、理解を深める。	4	
15	全体の復習を行う。	同時双方向型授業	レポート試験の準備	6	
試	期末レポート提出 達成度評価・評価のポイント参照				

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	50	30	0	20	100
総合 能力 指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	20	10	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	10	10	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	10	0	10	20
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	医療や福祉の分野と教育との関わりに関する期末レポート作成する（評価全体の 50%）。 これまでの学習が今後予想される仕事の中で、どのように生かされるか、また自分自身の課題としてどのように生かしていくかを考え、レポートにまとめる。				提出されたレポートを踏まえ、理解の傾向や内容等について補足や解説等を加え返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	授業内で作成した課題や資料から得たもの、取り組んだ実施報告、グループワークの話し合い結果など、発表内容をレポートとして提出する（評価全体の 30%）。				各発表後に理解度を含め、講評する。レポートにコメントを加え評価を伝える。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	グループワークやロールプレイなどの取組、対応力、指導力を評価する。授業内での課題や資料の提出により、学習参加度チェックを行い評価する（評価全体の 20%）。				課題への添削や講評によって、またグループワークやロールプレイでは、その場で評価を伝える。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>Teams を用いた同時双方向型授業を行う。</p> <p>Power Point 視聴・同時双方向諸行為があるので、通信容量無制限の Wi-Fi 環境の確保を勧める。</p> <p>今後の事情によっては授業形態・内容・シラバスの再度の変更もありうる。その場合には事前に告知する。</p>							